

伊福よしはる

宝塚改革プロジェクトNEWS Vol. 2

宝塚生まれ、宝塚育ち
昭和48年生まれ
光明小学校、高司中学校
宝塚西高校、同志社大学
同志社大学院、(株)クボタ
宝塚青年会議所



宝塚を変える
改革ネット

<http://ifuku-yoshiharu.net>

発行: 伊福よしはる
住所: 宝塚市福井町19-12
TEL/FAX: 0797-72-3626

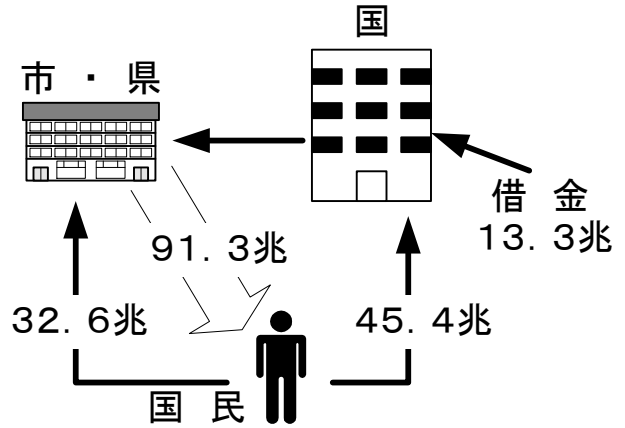
市民が主役のまちづくり

まずは図をみてください。これは国全体の税金の流れを示したものです。

国民は、市県や国に合計78兆円の税金を納めています。逆に国から地方へ交付されるお金は91.3兆円です。これを差し引きすると13.3兆円足りません。国は借金をしてお金を回しています。自転車操業なのです。結局、国もお金がないのです。

三位一体改革で国民のための改革をしていると思われていますが、実際は「税源」や「権限」を地方へ移しながら、地方へ交付される税金を大幅に削減しているのです。宝塚市も大幅に減少しています。

そこで私たちは何をしなければならないのでしょうか？あれもこれも、支出の削減がなかなか進まず、収入が減少すれば、自治体の財政はいずれ倒産します。基金（貯金）の取り崩しによって、かろうじて赤字決算にならないようにしています。しかし夕張市のような財政再建団体になっても、現状では国からの資金援助は見込めま



せん。私たちが今後真剣に考えなければならないことは「地方のことは地方です」「地域のことは地域です」「自分でできることは、自分でやっていく」です。こういう市民力・地域力が、宝塚市を活性化させるために必要な原動力になってきます。これからのポイントは、「市民が主役のまちづくり」「公（おおやけ）という行政のあり方をどう考えていくか？」です。伊福よしはるは、公園づくりを中心に市民が主役のまちづくりを展開させていきます。

宝塚市の借金！早く返さなければ

宝塚市の関係団体も含む負債額は、平成17年度決算で約1677億円です。

今は金利が低いため、支払っている利息も少ないですが、この先金利が上昇すれば支払う利息も多くなり、その分みなさんの税金が余分に使われることとなります。そうすると、またお金が無くなり、市民のために行われる事業が廃止されたり、予算がカットされます。こういう悪循環が続くのです。この先必ず金利は上昇します。こうなる前にできるだけ筋肉質な行政に改革し借金を減らしていく努力が必要なのです。

今ある借金は、すべて将来の市民の負担になります。若い人たちは政治に関心がないと言われていますが、この負担を若い人たちが背負わなければならないのです。



決算委員会で行政に問う

「誰がなっても政治は変わらない。」という声をよく聞きますが、まずは自分たちの足下に目を向けてみませんか？まずは宝塚市の政治に興味を持って頂きたいです。私たち「市民ネット@宝塚」という会派は市民と議員が宝塚の現状について対話する「駅前議会」を開催しています。まずは、これに参加してみませんか？すべての今のツケが、将来の私たちに降りかかってくることを、真剣に考えていきませんか？

平成19年9月 定例市議会 伊福よしはるの一般質問 及び 答弁 の概要

市民が主役の公園づくり

<伊福よしはる>

6月議会で質問した公園の安全管理についてあれからも全国で公園の事故が絶えません。事故のほとんどが、これくらいなら大丈夫だろうという安易な気持ちにより、事故を招いています。安全管理を徹底するとともに、安全注意事項や何か問題があったときにすぐに連絡できるよう連絡先を掲載した掲示板の設置が必要である。6月議会では早急に設置すると言っていたがその状況は？また、公園の安全管理体制は？

<市長>

「何かお気づきの点があれば公園緑地課までご連絡下さい」という掲示を8月末までに全公園に設置しました。安全管理は、5年に1度専門業者による一斉点検を行っています。日常点検は、職員が実施しています。

<伊福よしはる>

地域の方の意見を取り入れた公園づくり、また公園のあり方についてどう考えるか？

<市長>

地域で主体的に管理し、活用している団体もあり、一定の奨励金も出している。公園を守り育てるボランティア制度の拡充とともにこの活動を支援していきたい。

<伊福よしはる>

市民は行政の下請けではない。単に業者より市民に維持管理してもらった方が安くなるからやってもらうという発想ではいけない。市民が主役となって、自分たちが楽しく過ごせる公園づくりができるよう支援しなければならない。

そのためには、成功事例などの情報を行政がまとめ、市民に情報提供していくことが大切である。行政は積極的に市民と対話し、市民が主役となって行動できる手助けをしなければならない。

(右中段に続く)



公園の安全に関する掲示(連絡先、電話番号)

<追記>

6月議会、9月議会と公園の安全管理について質問していた最中、10月7日に清荒神の公園でブランコの鎖が切れる事故が発生しました。幸いケガはありませんでしたが、一步間違えれば大事故になっていたかもしれません。

行政は、お金がない・危険だと言って、すぐに遊具を撤去しようとしています。本当にそれでいいのでしょうか？これからの時代、行政まかせではなく子供たちが安全に遊べる、また地域の方が楽しめる公園を市民の手で創っていくことが必要なのではないのでしょうか？

今後「市民が主役の公園づくり」のあり方について、行政を交えてみんなで話し合える機会をつくっていきます。

財政不足！その解決策は？

<伊福よしはる>

これからの地方分権時代、地方のことは地方でやらなければなりません。国や県は借金だらけで、地方のことは助けてくれません。財政について今年度は基金(貯金)を取り崩して黒字にしましたが、さらに来年度は14億円不足する見込みです。具体的な解決策は考えているのですか？

(右上に続く)

<市 長>

平成20年度予算編成に向けて、全庁的な協議を行っている。具体的な内容は行財政改革調査特別委員会で報告します。

<伊福よしはる>

予算編成までもう1ヶ月しかない。これで十分な議論ができますか？

<横田 行財政改革担当部長>

今後どういう展開になるか予想できない部分があります。調整には時間をしっかりとかけて取り組んでいきます。

<伊福よしはる>

議論をするためには、現状をしっかりと分析しなければならない。またどこに問題があるのか、しっかりと把握しなければならない。予算の一律カットは、何も考えていないのと同じである。すべての事業を分析し、どこに問題があるのか？と議論できる資料づくりが必要である。

NTN跡地の利活用

<伊福よしはる>

NTN宝塚製作所は、創業以来約70年間宝塚市の産業を支えてきました。しかし平成20年9月に閉鎖されようとしています。宝塚市からまた優良企業が消えようとしていることは大変残念なことです。

NTN宝塚製作所の敷地面積は、約9ヘクタールあり、甲子園球場が2つすっぽり入る大きさです。しかも市役所の横という好立地な土地は、今後あらわれることはないでしょう。是非この土地を宝塚市の財産となるよう有効活用しなければなりません。その点宝塚市はどう考えているのか？

<村上 都市産業活力部長>

ご指摘のとおり、中心市街地に残された数少ない大規模な敷地です。今後の中心市街地の活性化にも非常に大きな影響を及ぼす土地という認識をしております。その中で宝塚市にふさわしい都市機能を整備する事業という位置づけで考えています。

<伊福よしはる>

この土地を有効活用するためには、たくさんの市民の方に関心をもってもらうことが重要です。市はどう考えているのか？

(右上に続く)



市役所の南東にあるNTN(東洋ベアリング)の工場

<市 長>

基本計画を作成する途中で、パブリックコメントに付し、またワークショップを開催してご意見を頂く機会を設けたが特に意見は無かった。

<伊福よしはる>

基本計画とは、宝塚駅から市役所までの間のすべての都市計画で、NTNの問題はその中のごく一部である。そんな小さな情報で市民の方に関心をもってくれという方が間違っている。非常に大切な敷地であるという認識があるのなら、積極的に市民に知ってもらう活動をするべきである。また、市民の声を聴くことはやっていないのか？

<村上 都市産業活力部長>

ご指摘のとおり、基本計画の中のごく一部にすぎません。NTNの敷地に限定すれば、市民の方からもご意見が頂けたと思います。

また、NTN跡地について検討委員会を設置する予定ですが、まだ設置しておらず市役所内で調整中です。

<伊福よしはる>

動きが遅い。来年の秋には撤退が決まっている。早急に対応を考える必要がある。

市役所をはさんで、北側には末広公園。無料で遊べる場所。南側にはNTN跡地。ここでは宝塚市内・市外の方にお金を使ってもらえる方法を考える必要がある。それが宝塚市の税収アップにつながる。

何回も言います。この敷地は宝塚市の財産です。市民の声をしっかりと聴き、市民のためになるよう、市が音頭をとってNTNと協議するよう強く要望する。

丸わかり！議会ニュース

～ 議会では、こんな内容を議論しています ～

2ヶ月間 プラスチックゴミを燃やしていたなんて！



宝塚市 クリーンセンター

今年の4月から6月まで、市民の方が努力して分別されていたプラスチックゴミが他のゴミと一緒に燃やされていた事件がありました。実際には、みなさんの努力がムダになっただけで、財政的な変化はありません。そのため、市役所側は事の重大さを理解していないと思われます。

2ヶ月間の市民のみなさんの労力をお金に換算すると1日の分別にかかる時間を平均して5分、79000世帯の負担とすると、2ヶ月間で39万5000時間になります。時給600円で計算すると2億3700万円の損失になります。

このような感覚が行政にはないのです。だから簡単に2ヶ月間燃やすことができたのです。4月の段階でプラスチックの再生利用ができないのなら、市民のみなさんに分別を中止するよう訴えかけることだって出来たはずです。私たち議員も新聞の発表で内容を初めて知った状態です。新聞の発表がなければ、このまま市民の努力は燃やされたままになっていました。行政側はバレなければ、隠し続けるつもりだったのでしょ。

行政をチェックするのが議員の役割です。チェックすると共に市民の方へ、今後とも情報発信を続けていきます。

旧宝塚音楽学校の利活用問題！どう活用するの？

旧宝塚音楽学校は、宝塚大橋北側にある手塚治虫記念館の東側にあります。今は使われていない旧音楽学校を宝塚の文化を発信する拠点として保存するという事が前の市長のときに決定し、現在はそれをどう利活用するかが問題になっています。

私はどう考えても、この決定プロセスに疑問があります。まず、旧音楽学校が宝塚市にとって、どう利活用できるかを検討するのが先ではないでしょうか？先に保存することが決定し、それをどう活用していくのかを後で考えるのは、順序が逆ではないでしょうか？

運営方法に関して、素晴らしい方法や運営者が出てくれば別ですが、もし出てこなければ、破綻した宝塚温泉のようになる可能性があります。

これは行政施策の全般について言える事ですが、行政には運営するということ計画もないままに、事業を開始していつているものが非常に多いです。今後、経営するという視点で市民の税金がムダに使われないかしっかりと監督していきます。

またこれはNTN跡地の問題につながる話です。早々にNTNの跡地をどうすべきか？という具体的な検討をすべきです。NTNの撤退後「どうしようか？検討しなければ」なんて言っている間に、NTNが予想もしなかった企業に売却してから焦っても遅いのです。行政は、旧音楽学校やNTN跡地を宝塚市の利益になるように、どう活用していくのかを経営者の視点で真剣に考えなければなりません。私は民間企業の経営感覚で提案し、改善させていきます。



旧宝塚音楽学校

●伊福よしはるサポーターを募集しています。

伊福よしはるの活動は、ボランティアのみなさんによって支えられています。特にお願いしたいのは、この市政報告のチラシを配って頂ける方です。またお店や企業に市政報告を置かせて頂ける方もお待ちしております。例え10部でも構いません。皆様のお力を少しでもお貸し下さい。ご連絡お待ちしております。

(TEL/FAX : 0797-72-3626 伊福まで)

●9月議会がFMで放送されます

伊福の一般質問がFM宝塚で放送されます。

FM宝塚 83.5MHz
11月12日(月)
13時～ 85分間

